

質問者 渡邊 直樹 議員

通告順 1

質問事項 1	地域医療体制の整備と老朽化公共施設の活用・撤去について	質問の相手	町 長
[質問要旨] 町長は6月定例会において、次期選挙への不出馬を表明されました。その際の一般質問において、「およそ6ヵ月の任期において、残された課題解決に向けて進めていきたい」旨を述べられております。 今後も本町においては、人口減少と少子高齢化、自主財源の減少と社会保障費の拡大、公共インフラや施設の老朽化、地域産業の衰退と担い手不足など、数多くの課題が続いていくと考えます。 そこで、5期20年にわたり町政運営を担われてきた町長のお考えとして「残された課題解決に向けた基本姿勢」をはじめ、これまで私が一般質問で取り上げてきた課題の現状、並びに今後の懸案事項について、次のとおり伺います。 ① 津別病院の建替えに向けた協議の進捗状況はどのようなになっているのか。 ② 老朽化した公共施設の活用・撤去についてどのように考えているのか。 ・旧消防庁舎の老朽化に伴う危険防止・崩落防止（望楼）について ・最上の旧津別町クリーンセンターについて ・旧美都水源の取水・導水管（埋設管）について ・旧相生小学校の校舎及び体育館について ③ 達美地区に特別養護老人ホームが新設・運営された後における、現施設の取り扱いをどのように考えているのか。 ④ 6月定例会で言及された「残された課題解決」に向けて、現在進められている具体的な取り組みにはどのような事柄があるのか。			

質問者 山内 彬 議員

通告順2

質問事項 1	職員の不祥事について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] 処分年月日令和8年8月24日の町職員の懲戒処分を町ホームページで公表されておりますが、公表された事案概要によると「被処分者は、管理監督者として職員の勤務実態を正確に把握し、適正な勤務管理を行うべき立場にありながら、担当する職員の時間外勤務の報告において、「虚偽報告」及び「非違行為の教唆」により、実際の時間外勤務時間と異なる時間数を報告する不適切な処理を行った」とされています。 そこで次の点について伺います。 ① 担当職員の時間外勤務の時期と時間外勤務数及び「虚偽報告」及び「非違行為」に及んだ時期について ② 8月26日の北海道新聞では、平準化しようと時間外勤務命令簿を別に作成と報じられているが、二重に勤務命令簿を作成していたのか。 ③ 「町は管理職による法令違反に危機感を抱いている。改めて法令遵守の徹底を職員に求めていく」とコメントしているが、法に基づいて業務を行うべき町がこのような実態では町民の信頼は得られないと思うが、今後どのように対応していくのか。			

質問者 山田 英孝 議員

通告順3

質問事項 1	第10期介護保険事業計画の推進について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] 介護保険事業計画は3年毎に作成することになっており、本年度が令和9年度から令和11年度までの第10期介護保険事業計画の策定年にあたります。 厚生労働省が示した第10期介護保険事業計画の基本指針では、2040年を見据えた中長期的な推計を基本に、地域の実情に応じたサービス提供体制を構築する考え方を打ち出しました。地域類型ごとのサービス基盤の確保、医療・介護連携の一層の推進、地域包括ケアシステムを支える人材確保、認知症施策の推進、高齢者向け住まいの状況把握などを計画上の重要項目として位置付けています。 津別町では、既に令和7年度に日常生活圏域ニーズ調査を実施している他、介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定委員会を開催するなど、計画策定の取り組みが行われているが、次の点について伺います。 ① 第9期介護保険事業計画に対する実績評価と課題をどのように捉えているか。 ② 2040年を見据えた中長期的な推計で、75歳以上の高齢者や要介護認定者数の推移及び持続可能な介護サービス提供に向けた課題は何か。 ③ 中山間・人口減少地域を対象に、介護事業所や施設の人員配置基準を緩和する特例介護サービスの新たなタイプの活用をどのように検討しているか。 ④ 第10期期間中には、特別養護老人ホームが建て替え整備となるが、新たな介護サービス提供をする考えはあるか。 ⑤ 認知症基本法を踏まえ、認知症の人の現在数と推計値、社会参加の機会づくりなど認知症施策の取り組み現状と課題をどのように捉えているか。 ⑥ 65歳以上の第1号介護保険料の改定見込みと13所得段階層を増やす考えはあるか。 ⑦ 介護サービス提供には欠かせない介護人材確保対策が重要になるが、特定技能の外国人配置に係る費用負担の支援をする考えはあるか。			

質問者 巴 光政 議員

通告順4

質問事項 1	高齢者の孤独死対策について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] 令和6年6月の第4回定例会において、高齢者の孤独死について一般質問しました。今回は、高齢者の生活不安の解消と生命の安全確保の観点から、前回からの比較をしながら、より良い方向性が確認できればと考えています。 そこで、次の点についてお伺いします。 ① 「高齢者等緊急通報システム貸出事業」の実施状況は、2年前の質問の時点で22件の方が利用していましたが、現在は15件です。この減少の要因は何か。 ② ①の「高齢者等緊急通報システム貸出事業」について、今後、検討を加える点はないか。 ③ 独居高齢者で元気だった人が急に亡くなるケースが見受けられます。元気な人ほど通報システムを付けていなく、孤独死となることがあるが、対策はあるか。 ④ 水道スマートメータが取り付けられ、水道公式アプリ「津別町水道ポータル」で利用水量と利用額の確認がスマートフォン等で出来るようになったが、アプリの登録者数は何人か。 ⑤ 水道スマートメータについて、見守り機能でオプションがありますが、その機能の内容と活用方法について伺いたい。			

質問者 巴 光政 議員

通告順4

質問事項 2	まちづくり懇談会の現状と課題について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] まちづくり懇談会の目的は、町長が直接町民の声を聴き、地域ごとの課題を把握し、町政の方針や計画、また、まちづくり基本条例の策定や、公共施設の整備、地域振興などの重要施策を説明し、そして公約である「町民と協働のまちづくり」の実現手段として位置づけられていると考えます。 そこで次の点について伺います。 ① 今回「まちづくり基本条例」制定を議題にまちづくり懇談会が開催されましたが、何カ所の会場で説明員を除き何人の町民が参加したか。さらに、どのような意見が出されたのか。 ② 町長の任期ごとの最初のまちづくり懇談会の参加人数は何人だったか。 ③ ②について、結果的に行政と町民とに於いて、町民の意見や考え方に対して、良く検討し結果を伝えているか。また、一方的な考えの押し付けになっていなかったか。 ④ 今回の「まちづくり基本条例」という、町民に身近なテーマですが、町民の関心を町長はどう感じるか。また、町民の理解度をどう判断しているか。			

質問者 巴 光政 議員

通告順 4

質問事項 3	役場職員の職場環境について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] 近年、役場職員の不祥事が度々報道されていたり自ら命を絶ったりと、津別町としての信用にも係わる事態となっています。働きやすい職場環境が必要と考えますが、町職員としての規律、職場環境等について、次の点について伺います。 ① 町職員としての規程・規律はどうなっているか。採用後の職員教育はどうなっているか。法令遵守の徹底が不十分ではないか。 ② 定期的に職員教育の場を設け、モラルを含めた学習会の開催が必要ではないか。 ③ 各課、担当者ごとの作業マニュアルが整備されているか。また、担当者ごとに具体的事務引継ぎが徹底されているか。			

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順5

質問事項 1	災害、平時の対応と避難所環境について	質問の 相手	町 長
[質問要旨] 災害はいつ起こるかわからないため、発災した時に備え、平時の対応が重要と考えます。 地域住民と協働し、避難場所や避難経路の確認は言うまでもないが、なかなか徹底されていないのではないのでしょうか。 そこで、次の点について伺います。 ① 平時の対応をどのように考えているのか。 ② 避難時に配慮を必要とする人の名簿の作成はどこまで進んでいるのか。 ③ 避難所環境について、次の基準があるが、現状はどうなっているか。 ・スフィア基準（最低ラインを示す国際指標） - 居住スペース（畳2畳） - トイレ20人に1基 - 水1人1日当たり最低15ℓ - 入浴環境 など ・TKB48（発災後48時間以内にトイレ、キッチン、ベッドを整えること）			